

平成27年4月26日執行

勝浦市議会議員一般選挙公報

勝浦市選挙管理委員会

守ります 輝く未来を //

Defense of The future!!



黒川 たみお

防災対策

長い歴史と文化・伝統に育まれてきたのが勝浦市であります。私は勝浦市に住む皆さまへ、ひとり一人が輝く未来を創造できる安全で安心な街づくりをします。

地震などの自然現象は、科学の進歩により一定の予測は可能とまではできません。必要なのは災害に発展させないことです。房総半島はその美しさを太平洋に突き出しています。大きな災害に見舞われ、ライフラインの寸断や落橋等が起きた場合は陸の孤島となります。

- ◎ 火災や自然災害から市民をまもり、安全確保に努め防災、防犯体制の整備強化を推進してまいります。
- ◎ 非常備消防などの整備の充実、自主防災組織の強化や防災士資格の取得を推進してまいります。
- ◎ 港灣を活用した防災体制の整備強化を推進してまいります。

教育

昨今の青少年を取り巻く環境は急速に変化しており、青少年の心の豊かさに、特に対人関係の中をたくましく生きていく力が欠けています。

- ◎ 教育環境の充実を努めます。
- ◎ 通学路の安全確保に努め整備強化をしてまいります。
- ◎ 学校・PTA・地域の連携強化を推進してまいります。
- ◎ スポーツ・武道の振興に努め、その専門的な知識と技能を、体得した青少年を育て、国際社会及び地域社会に広く対応できるたくましい青少年を育成してまいります。

地域振興

過疎対策の一環として活力のある勝浦を発信し、交流人口を増やすよう努力いたします。

- ◎ 市外県外への交流をはじめとして、国際交流と発展できるよう努めてまいります。



あかるい笑顔で街づくり



まつざき 栄二

一、人口減少問題

- ◎ 認定子ども園の建設推進。
- ◎ 子育て支援推進。
- ◎ 雇用対策。職場誘致。

二、環境整備

- ◎ 河川・海岸の浄化推進。
- ◎ 家庭ゴミ再分別の推進で減量化。
- ◎ 空き家・空き地雑草対策推進。
- ◎ 山林の間伐を推進し、有害鳥獣の繁殖を抑制。

三、観光資源

- ◎ 市内各地に眠る名所旧跡の掘り起し（神社・仏閣めぐり）
- ◎ 農漁業体験型観光。
- ◎ 日帰りから宿泊型観光・民泊

佐藤けいじが描く未来への
勝浦八策!
勝浦の未来は私たちが創る!

私にとっては、議員になることは目的でも目標ではありません。以下のビジョンを実現する為の手段として議員活動をしています。

議会改革 ● 議会、議員の役割を明記した議会基本条例の制定を目指す ● 委員会の改革（常任委員会の適正化と議会改革検討委員会の特別委員会化） ● 広報委員会を設置して身近で透明なガラス張りな議会への取組 ● 議会表彰制度の創設を目指す	子育て支援の充実 ● 認定こども園と子育て支援センターの早期建設 ● 保育サービスの充実（乳児・病後児保育、土曜夜間を含めた延長保育の導入） ● 放課後ルームの充実（小学生生までの利用拡大） ● 子育て支援基金の創設を提案します ● 小学生生までの医療費の無料化の拡大を提案します ● 公民館等での授乳室やおむつ交換台の増加を提案します ● 小児医療体制の充実を要望してまいります
活力あるまちへ ● 中小企業振興条例の制定への取組 ● 若者や移住者のための起業・創業支援や就労支援 ● 空き店舗対策とまちの活性化をすすめる商店街の活性化 ● 映画やドラマのロケ誘致で地域振興と観光PRの強化 ● 勝浦産MICEによる交流人口の増加と地域振興 ● 地域産業の後継者育成支援（就労支援や就業支援） ● 施設支援と無形文化の伝承 ● 有識者ネットワークの強化	子ども達のために ● コミュニティスクール等住民参加の学校運営について検討 ● 進路指導、キャリア教育、郷土愛を育む教育の充実 ● 部活動の支援強化を図ります ● 国際武道大学生と連携して土曜日や空き教室利用による知育体育の充実 ● 進学路の安全確保に取り組めます ● 教科工の習熟度別授業の実施について研究します ● 教室のエアコン設置等、教育環境の整備を図ります
市民の役に立つ所づくり ● PR・PPPの導入による公共施設整備 ● 市役所議員の自主研究グループの充実 ● 全公共施設を計画的に一体管理・活用していく「ファシリタマネジメント」を推進 ● ICT情報システム活用による経営資源の最適化 ● 多機能グランドや広場等導入で自主財源確保の推進 ● 若手職員の育成と外部研修導入	健康・福祉 ● 医療費抑制のために健康づくりの充実を図る ● エキスパートを活用し高齢者の生きがいづくりと生涯学習の充実 ● 不妊治療費の市単独負担を軽減 ● 子育て支援センター、介護用オムツのゴミ無料化を要望します
文化・スポーツ・武道の振興 ● 東京オリンピックを見据え、合宿誘致に取り組む ● 勝浦駅周辺の大型ドラマ化 ● 勝浦市の歴史文化遺産や伝統芸能の保護と活用 ● スポーツコミッションへの取組	安心・安全なまち ● 防災支援隊の創設により地域防災の強化を図る ● 避難所へのAED設置とAEDマップの作成 ● 災害被害者のための災害被害者の支援 ● 防犯カメラの設置の増設を要望 ● 防犯灯やトンネル照明のLED化



佐藤 けいじ
43歳



すえ よし
末吉 さだお

市民と共に確かな街づくり!

街の活性化と過疎対策

○人口が二万人を割り、今後も人口減少が続くものと思われる中、昨年四月に過疎地域の指定を受けたため、その財政支援である過疎債を利用し道路整備等を行い過疎地域の脱却を図り街の活性化につなげることを推進する

市経済の活性化と交流事業の政策対応

○農林・漁業、観光等基幹産業の振興支援対策及び交流人口の増加、移住定住対策及び雇用の場の確保等地方創生に積極的に取り組む。

福祉政策と教育環境の整備

○障害者、高齢者、生活弱者の人達が安心して暮らせる生活環境を創ると共に子育て支援の充実を図る。

○学校統廃合に対する通学への安全対策の推進と、子供達が安心して学習できる環境を作り、いじめ対策等の推進を図ります。

勝浦救済宣言!
「より豊かな生活のために」

地方創生における 地域産業の活性化 ・勝浦に「道の駅」「お魚センター」・ワイシャツ・マンズワフ等々の設立	少子化における子供支援 ・働く親のため、保育所内での病児対策 ・医療室設置（医療資格者在中） ・子供を持つ若い世代の雇用促進
勝浦市の所有地の活用について ・勝浦駅裏、新官瀬戸浜、前市民会館跡地等の有効活用 ・スポーツ総合施設（公園、市民プール、サッカー、野球場）設立	市営住宅の見直し・整備 ・梨の木団地・万名団地等の建替え ・新たな住まいの環境作り

市民とともに!!



寺尾 しげお

照らそう!未来



てる かわ
照川 ゆみこ

こ 子育て支援・福祉の充実
み 未来の安全・災害対策
ゆ 夢を育む教育への支援
わ 若い人を呼ぶ共生の町づくり
か 観光・地域産業の活性化
る 留守・空き家・空校舎対策
で 定数減議員報酬改革

市議会に女性が入り意見反映することは、心豊かな共生社会づくりの第一歩! 女性と男性が力を合わせ若者も高齢者も知恵を出し合い、人口2万人を切った勝浦市の未来について、共に考えていきましょう。市民の声を生かし、未来を照らすよう、働きます!!

プロフィール
元公立小学校校長
元東総教育研究所長
環境・審議会委員
生物観察支援活動者

平成27年4月26日執行

勝浦市議会議員一般選挙公報

勝浦市選挙管理委員会

安倍暴走政治から暮らしを守ります

暮らし最優先に4つの転換

- ① ゴミ袋や水道料金の値下げ
- ② 国保税・介護保険の負担軽減
- ③ 市民参加で防災のまちづくり
- ④ 住宅リフォーム助成で地域に仕事を

安倍政権の暴走に対し、市と議会が市民の暮らしを守る防波堤の役割を果たす事が、今ほど必要な時はありません。

ところが市議会は、日本共産党以外、市長の提案に何でも賛成し、チエック機関の役割を果たしていません。私、日本共産党の藤本おさむは、市民に冷たい市政から「市民が主人公」の市政転換に力いっぱい働きます。

＜略歴＞ 1950年兵庫県淡路島生まれ。
'75年室蘭工業大学工学部化学工学科卒。
'06年まで医療生協さいたまに勤務。'06
年勝浦市に転居。'11年より勝浦市議 1期
目。家族：妻、一男一女。趣味：釣り、家
庭菜園。住所：上野 438 電話：76-3975

「戦争立法許すな!」の願いを日本共産党に!



日本共産党

藤本おさむ

安全・安心・住みよい勝浦

私は、皆様のご意見・ご要望に対して調査し、市政に反映させていきます。



吉野のぶよし

魅力あふれる勝浦づくり

- ## ☆安全・安心な街づくり

 - ・こともたちの通学路における安全対策
 - ・防犯カメラ、防犯灯の増設

☆環境対策

 - ・浜勝浦川の浄化対策
 - ・名所周辺のゴミ対策

☆観光の振興策

 - ・市内観光名所の発掘
 - ・観光客のリピーター化を目指す

☆高齢者・障がい者に 対する福祉の充実

 - ・高齢者、障がい者が安心して暮らせる環境づくり

☆教育環境の整備

 - ・小中学校統合再編の整備





進化しつづける「勝浦の街づくり」を推進します。



つちやはじめは、勝浦の街づくりに

「まじめ」に取組みます。

- ① **かつつら「元氣塾」で次世代「人づくり」**
「街づくり」は、「人づくり」から。
○若者を中心に、国際性に富んだ人づくり。
○勝浦市国際都市化推進員「観光大使」の育成。
○国際武道大学生のためのワンコイン百円朝食化応援補助制度の導入。
- ② **足元からの「地方創生」に取組む**
○国の地方創生戦略に呼応した勝浦ならではの地方創生を展開します。
○勝浦の地域資源を生かしたイベントや特産品開発
- ③ **街の賑わいをつくる「チャレンジャーズイベント」**
○街づくりは、まず街のなかの「賑わい復活」からスタート。
○「花のまち」づくりや「おてな」づくりを推進いたします。
○そして、市民参加型の「チャレンジショップ」計画を推進します。



はじめ

つちや元

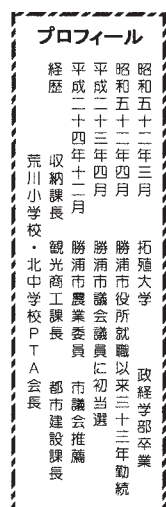
創造と実行 新しい勝浦を創造し行動します

昨年4月に指定を受けた過疎地域指定による財政支援を最大限活用し、勝浦市の創生と活性化を目指し活動いたします。

す
ず
き鈴木かつみ
(60歳)

- ① 国策として重点を置く「地方創生」に対応した政策の推進
 - ② 基幹産業である農林漁業、観光業への振興支援対策の拡充
 - ③ 第六次産業化（生産から加工、販売までの一括対応）の推進
 - ④ 交流人口増加と移住定住化対策を促進
 - ⑤ 歴史・伝統、芸術文化を活用した街づくりの推進
 - ⑥ 地域資源である森林自然資本を生かした地域の活性化
 - ⑦ 雇用対策の推進
- ① 高齢者、障害者、生活弱者対応の街づくり
 - ② バリアフリー対策推進
 - ③ きめ細かな公共交通機関の拡充
- ① 安心安全な街づくりの推進
 - ② 道路や水道などのインフラを再確認し整備
 - ③ 安心して暮らせる生活環境と災害に強い環境を創ります
- ① 教育環境の整備
 - ② 安心して学習できる環境の整備
 - ③ 小中学校統廃合に対する通学への安全対策を図ります
- ※ 生活の便利さが実感できる街づくりを進めます
- プロフィール**

昭和五十五年三月 平成五年四月	岩手大学 経済学部教授
昭和五十六年四月 平成二年五月	岩手県庁 総務部企画課長
平成三年十二月 昭和四十四年二月	岩手県庁 総務部秘書官
昭和五十二年七月 昭和四十一年八月	岩手県庁 建設部長
昭和五十一年九月 昭和三十一年十月	岩手県庁 建設部長
昭和五十年六月 昭和二十九年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十九年三月 昭和二十八年八月	岩手県庁 建設部長
昭和四十八年一月 昭和二十七年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十七年十一月 昭和二十六年十二月	岩手県庁 建設部長
昭和四十六年九月 昭和二十五年十月	岩手県庁 建設部長
昭和四十五年七月 昭和二十四年八月	岩手県庁 建設部長
昭和四十四年五月 昭和二十三年六月	岩手県庁 建設部長
昭和四十三年三月 昭和二十二年四月	岩手県庁 建設部長
昭和四十二年一月 昭和二十一年二月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年十二月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年五月 昭和二十年三月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年三月 昭和二十年一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年一月 昭和二十年十一月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年十一月 昭和二十年九月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年九月 昭和二十年七月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年七月 昭和二十年五月	岩手県庁 建設部長
昭和四十一年	



今こそ地方の底力！

～地方の底力は行動力にあり～
「この地域が生き残っていくためには、今ある資源を掘り起こすことであると考えます」

◆未来に向けた5つの提案◆

- | | |
|---|---|
| <p>① 入るを計って・出るを制する</p> <p>自治体経営を如何に民の議論に近づけるか！今こそ自治体は格がなければならない！財政健全化・自治体経営改革を行うことで、市民サービスの向上に繋がり、医療や福祉の充実を図ることが出来ると考えます。</p> | <p>② 地域おこし活動と地域PR活動の継続</p> <p>熱血!勝勝湯タンメン/船岡の船岡とまれ
で、継続的な地域おこし活動を進めながら地域の人達を構築し、官民一体の地域づくりを行っていきます。さらには、女子力向上に向けた空き店舗対策事業や、農林水産事業者と連携し幅広い地域おこし活動を実施、一人でも多くの雇用を実現していきます。</p> |
| <p>③ 今ある資源の再構築を図る</p> <p>漁業・農業・朝市・商店街/国際武道大学といった、勝勝にある多くの観光資源や人の資源を関係団体と連携しながら意見交換を行いながら再構築し、今ある産業をもう一度蘇らす活動を行っています。</p> | <p>④ 自治体間競争に勝つための戦略</p> <p>学校の統廃合後の有効利用や、市の遊休地の活用、民間企業の持つ土地などを活用し、他の自治体に負けない戦略を打ち出し、先進事例に則していきます。</p> |
| <p>⑤ スポーツを通じた健康増進活動</p> <p>総合運動公園、運動場の整備を予めしっかりと努めます。また、介護予防や成人病予防のために、健康増進活動を推進し、高齢者の方々のコミュニティの場を提示し、医療費の削減につなげるような取り組みをしています。</p> | <p>「プロフール」</p> <p>1974年6月 勝勝市松野生まれ
君津学院 木更津中央高等学校 卒業
(現 木更津総合高校) 硬式野球部 副主将
(有)勝勝エンジェルズ 取締役
勝勝市商工会 理事
勝勝タンメン/船岡企業組合 代表理事
心研野球クラブ 副代表
NPO法人ファミリーサポートとらんぽ 役員</p> |



のりまさ、

い
その
典
正
(40歳)



いわせ よしのぶ

行政改革

- * 議員定数と給与の削減
 - * 交通体系の整備
 - * 松野ハイパスの、早期完成の要望を強化
 - * 快速電車の増発と勝浦駅裏口市営駐車場の整備
- 環境保全**
- * 津波等自然災害時の安全な避難場所の設備と機能強化
 - * 千本桜の会（観光協会主催）の支援
- 地域福祉の推進**
- * 障害のある人子供たちお年寄りの安心して暮らせる共生社会
- 産業と観光開発**
- * 体験農業・漁業などを通じた観光開発
 - * 市民会館跡地に海の道の駅物産会館の整致

平成27年4月26日執行

勝浦市議会議員一般選挙公報

勝浦市選挙管理委員会

正心誠意。 どんなときも決して悲観せず、覚悟を持って、明るく、そして前向きに市政に取り組みます！

実現力！ ※政策は政治家の命。前回の政策提言中から達成したものを抜粋します。

- 図書館の開館時間延長、内容の充実を図る →開館時間延長・インターネット検索導入
- 教員の得意分野を活かす小中学校の教科担任制の導入を検討 →理、数、社などで一部専任教員導入
- 地域の歴史・文化を保護、活用する →勝浦紹介動画の作成・市の観光誘致、PRに活用
- 危険箇所の改善・歩道の整備を図る →市内危険箇所改善対応、浜勝浦区の緊急避難路を整備
- 市政報告会を開催し、議会の透明化を図る →議会毎に所属会派による市政報告会を実施
- 個人市政報告会を開催し、民意を市政に反映する →複数回の個人市政報告会と出前報告会を実施その他にも・・・
- 毎議会必ず一般質問を実施しました！（実施率100%）
- 政策提案数22件。うち7件が実現。政策実現率30%以上！
- 議会報編集委員長として、議会だよりの全面リニューアルを実現しました！



私の政策提言 戸坂健一に投票するかどうか、時間をかけて考えてみてください！

教育 教育は百年の計。未来を見据えた先進教育を導入し、日本一の教育環境の実現を目指します。また子育て世代への支援拡充を推進します！
例えば ●小中一貫校の導入、土曜授業の実現推進 ●子どもたちの夢や郷土愛を育む教育を

地域 勝浦市の今ある様々な資源を見つめ直し、新しいアイデアで産業創出・農林水産業の振興を図ります！
例えば ●地域特性を活かした新産業の創出を図る ●次代の農水産を担う人材の育成を図る ●漁業資源の保全・環境枯れ対策の推進

地方創生が叫ばれる昨今、私たち地方議員に課せられた役割はますます重要になっていきます。いまこそ、勝浦市の持つ様々な財産を活用し、アイデアと行動力で未来を切り拓く事の出来る「働く」議員が求められています。私は決して勝浦市の未来を悲観しません。今後も、覚悟と勇気を持って、新しい勝浦を創るために邁進していきます！ 戸坂健一



とさか けんいち
(38歳)

全ては健全な財政が前提です。……適切な財政チェックに努めます。

- ▼**地方創生・総合戦略の堅実な遂行**
空き家対策・消滅集落への対応など地域に希望を与えることが必要です。地域にたどり着く不安を解消するため、勝浦市の総合戦略の堅実な遂行に協力して行きます。
- ▼**高齢者対策は**
実証実験中のデマンドタクシーの結果を踏まえ、交差点の二層の充実を目指します。健康長寿社会のために、体力づくりや健康診断受診率の向上を目指し、買物難民と言われる皆さんのために商業と福祉の連携を推進します。
- ▼**若者定住支援は**
安心して子育てができるまちづくりのために、働く場所を確保し、結婚・出産・子育て支援を、勝浦市の総合戦略に基づき実践していきます。
- ▼**観光振興は**
海水浴場も変化が求められ、各イベントもスタッフの高齢化で負担が増えるという新たな始まった映画・テレビロケ地の誘致や物産の開発等を支援し観光振興に努力します。
- ▼**議会改革は**
各地で議員の資質が問われる事件が続きました。機をたし、一層の市議会改革を進め、より開かれた市議会を目指し、「議会基本条例」の制定に向けて努力します。
- ▼**防災・防犯は**
避難路の整備や自主防災組織の充実、子ども達の安心安全のための青色パトロール隊への協力、食の安心安全等関係団体の皆さんと協力し実践します。
- ▼**教育関係は**
教育制度の改革に伴い、教育委員会のあり方も変わってきます。子ども達のことを最優先に考えていきます。生涯学習の充実を積極的に支援します。
- ▼**商業振興のために商業組織の連携**
プレミアム商品券の発行、マイカードポイントの活用、商店街路灯の維持管理と言った基本的な部分で商工会と各団体が連携し、中小商店の力を引き出し地域の活力につなげていきます。



いわせ ひろお

若者を助け・子どもを守り・お年寄りに優しい街づくり!!

出産・子育て支援

- *不妊治療への徹底支援
- *各種クチュン接産の無料化
- *保育料の負担軽減
- *一人目からの出産祝い金制度の確立
- *ひとり親家庭への支援拡充
- *遊具の充実した公園・施設づくり

安全・安心な街づくり

- *交通安全教育や防災教育の推進
- *通学路等の安全確保
- *消防組織を支援し地域住民の生命・身体・財産を守ります
- *障がいを持つ方が災害時に迅速かつ安全に避難できるシステムづくり
- *津波を考慮した避難施設や避難路の整備

街の活性化

- *地元特産品のブランド化と販売促進
- *農林水産業・商工業への振興支援
- *地元に残り安心して生活できる街づくり
- *移住者支援を推進し、地域に活力が生まれるよう努めます
- *各種イベントを盛り上げ多くの人に来てくれるよう活動します
- *生活基盤（インフラ）の整備に取り組む

福祉・介護支援

- *特別養護老人ホームの増設と利用料軽減
- *障がいを持つ方と家族に対する徹底支援
- *福祉を担う人材の育成と支援

環境保全

- *浄化槽設置を推進し水質保全に取り組む

人口減少が問題視されている現在。私の大好きな勝浦市でも少子高齢化、若者離れによる過疎化、農業・漁業衰退による後継者問題、そして医療・福祉の問題といった厳しい現状に取り囲まれています。そのような状況を少しでも改善していけるよう勉強し取り組んでいきたいと考えております。地域の宝物である「子供のため」、戦後この国をここまで盛り立てて来た大先輩である「高齢者のため」、そしてこれからの時代、この地域で活躍していける「若者のため」に私は活動し行動していきたいと考えております！市民の皆様が安心して出産子育てする事ができ、安心して働く事ができ、安心して老後の生活を送る事ができるよう若さと行動力で、お役にたてるよう頑張っております。

わたしは勝浦が大好きです！そんな勝浦を守って行きたい!!



高梨ひろと
37歳

私の約束!かつうら元気プラン!

今こそ『女性ならではの』視点で皆さんと街づくりを!

1. 子育て支援の拡充を推進します。

- ・中学などの学校入学時に準備支援金進呈の実現を目指します。
- ・働く親のため、休日保育の実現を目指します。
- ・家賃支援等、若者定住促進支援金の拡充を目指します。

2. 教育環境の充実を推進します。

- ・学校の統廃合で教育の地域間格差が起こらぬよう、皆さんの意見を市政に届けます。
- ・いのちの元である食育の充実を推進します。

3. 福祉の充実を推進します。

- ・介護おむつ用にゴミ袋の支給を目指します。
- ・買い物弱者を作らぬよう、市内の商店・組織を活用、支援します。

4. 産業の振興を推進します。

- ・勝浦百景を募集・選定し、観光ロケーションに活かします。
- ・6次産業的発想で水産・農産物の「勝浦ブランド」確立を支援します。
- ・宿泊・買い物などへの外国からのお客様の受け入れ体制を整え、インバウンド消費（外来者の消費）を推進する仕組み作りを考えます。



くが けいいち

勝浦市の未来を真剣に考えます

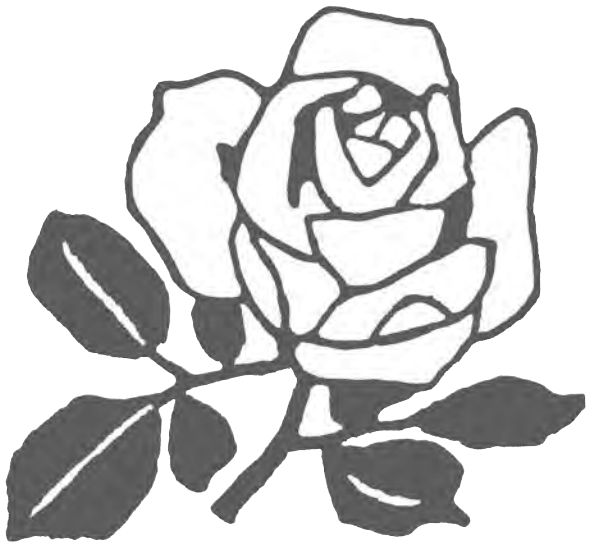
《市民のためのより良い市政を》



まる あきら
昭

私は常に、驕ることなく市民の皆様の『声の代弁者』で有りたいと考えています。

- 【生活基盤の充実】
一として、水道未普及地域の更なる解消を進め併せて料金引き下げの施策を検討致します。
二として、生活道路の改善整備に取り組みます。
- 【福祉、教育、税】
一として、日本社会の発展に貢献してきた高齢者と未来を担う子供達の福祉政策の充実を図ると共に物心両面の教育環境整備の拡充に努めます。
二として、国民健康保険税の軽減政策を検討致します。
- 【産業振興】
基幹産業の農業、漁業の基盤の改善と更なる強化を進めると共に商業、観光との連携を図り市内全域の調和の取れた活性化を目指します。



平成27年4月26日執行

勝浦市議会議員一般選挙公報

勝浦市選挙管理委員会

勝浦市議会議員一般選挙

投票日 4月26日(日)

投票時間 午前7時～午後8時

投票所

第1投票区投票所	勝浦集会所集会室(図書館2階)
第2投票区投票所	新勝浦市漁業協同組合本所会議室(豊浜支所)
第3投票区投票所	保健福祉センター集団指導室
第4投票区投票所	興津集会所講義室
第5投票区投票所	清海小学校体育館
第6投票区投票所	(元)行川小学校音楽室
第7投票区投票所	名木緑風苑デイサービスセンター
第8投票区投票所	上野集会所会議室
第9投票区投票所	荒川テニスコート研修室
第10投票区投票所	勝浦市福祉避難所
第11投票区投票所	総野集会所会議室
第12投票区投票所	勝浦裕和園地域交流スペース
第13投票区投票所	勝浦市役所1階市民ロビー

期日前投票は、4月20日(月)から4月25日(土)までの毎日、午前8時30分から午後8時まで
勝浦市役所401会議室にてできます。詳しくは勝浦市選挙管理委員会にお問い合わせください。